



## 2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年7月29日

上場会社名 西部ガスホールディングス株式会社  
 コード番号 9536 URL <https://hd.saibugas.co.jp/>

上場取引所 東 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 道永 幸典

問合せ先責任者 (役職名) 財務戦略部連結決算グループマネージャー (氏名) 古閑 裕一郎

TEL 092-633-2245

四半期報告書提出予定日 2022年8月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	55,298	10.4	2,233	15.9	2,852	37.9	1,799	21.5
2022年3月期第1四半期	50,083	15.3	1,926	26.5	2,068	9.7	1,481	65.5

(注)包括利益 2023年3月期第1四半期 2,763百万円 ( %) 2022年3月期第1四半期 18百万円 ( 99.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	48.61	
2022年3月期第1四半期	40.01	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	392,643	81,915	19.3
2022年3月期	395,664	80,639	18.8

(参考)自己資本 2023年3月期第1四半期 75,680百万円 2022年3月期 74,335百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		35.00		35.00	70.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		35.00		35.00	70.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	250,000	4.2	6,500	23.5	6,500	23.5	4,500	25.0	121.54

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	37,187,567 株	2022年3月期	37,187,567 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2023年3月期1Q	162,306 株	2022年3月期	162,173 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期1Q	37,025,304 株	2022年3月期1Q	37,023,956 株
------------	--------------	------------	--------------

(注)当社は業績連動型株式報酬制度(株式給付信託)を導入しており、期末自己株式数には、株式給付信託に係る信託口が保有する当社株式(2023年3月期1Q 78,100株、2022年3月期78,100株)が含まれております。また、期中平均株式数(四半期累計)の計算においては、当該信託口が保有する当社株式(2023年3月期1Q期中平均 78,100株、2022年3月期1Q期中平均 80,500株)を、控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境は、人口減少・少子高齢化や電力・ガス小売全面自由化の進展はもとより、カーボンニュートラルの実現に向けた潮流やサステナビリティ意識の高まり、新型コロナウイルス感染症による社会変容など、急速に変化しております。これらの環境変化に迅速かつ適切に対応するため、当社グループは「西部ガスグループビジョン2030」を2021年11月に公表し、2022年4月よりビジョンの実現に向けた新たな中期経営計画「Next2024」をスタートいたしました。「Next2024」では、中核であるガスエネルギー事業の競争力強化を図るとともに、電力その他エネルギー事業や不動産事業を成長させ、引き続き事業構造の変革に取り組んでまいります。

当第1四半期連結累計期間の連結売上高は、ガス事業において原料費調整によるガス料金単価の上方調整の影響等により増加した一方、不動産事業において分譲マンションの販売戸数が減少したこと等から、売上高合計では前年同期に比べ5,215百万円増の55,298百万円となりました。

費用面につきましては、主にガス事業、LPG事業及び電力事業において売上原価が増加いたしました。

この結果、営業利益は前年同期に比べ307百万円増の2,233百万円、経常利益は784百万円増の2,852百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は318百万円増の1,799百万円となりました。

なお、当社グループの売上高はガス事業のウエイトが高いため、冬期を中心とした期間に多く計上されるという季節的変動があります。

## 〔収支の概要〕

(単位：百万円)

項目	当第1四半期 連結累計期間 (2022.4～2022.6)	前第1四半期 連結累計期間 (2021.4～2021.6)	増減	増減率(%)
売上高	55,298	50,083	5,215	10.4
売上原価	36,046	30,714	5,332	17.4
供給販売費及び一般管理費	17,019	17,442	△423	△2.4
営業利益	2,233	1,926	307	15.9
経常利益	2,852	2,068	784	37.9
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,799	1,481	318	21.5

## 〔ガス販売実績等〕

項目	単位	当第1四半期 連結累計期間 (2022.4～2022.6)	前第1四半期 連結累計期間 (2021.4～2021.6)	増減	増減率(%)	
販売量	家庭用	千m <sup>3</sup>	55,242	57,857	△2,615	△4.5
	業務用	〃	125,138	119,619	5,519	4.6
	卸供給	〃	26,655	26,142	513	2.0
	計	〃	207,035	203,618	3,417	1.7
お客さま戸数	千戸	1,131.6	1,133.3	△1.7	△0.2	
平均気温	℃	20.5	20.3	0.2	—	

(注) 1. ガス販売量は、毎月の検針による使用量の計量に基づいたものを45MJ(メガジュール)/m<sup>3</sup>で表記しております。

2. お客さま戸数は、四半期末の都市ガスメーター取付個数であります。

## 〔原油価格及び為替レート〕

項目	単位	当第1四半期 連結累計期間 (2022.4～2022.6)	前第1四半期 連結累計期間 (2021.4～2021.6)	増減	増減率(%)
原油価格	ドル/バレル	86.09	55.88	30.21	54.1
為替レート	円/ドル	129.73	109.51	20.22	18.5

## &lt;セグメント別の概況&gt;

## ①ガス

当第1四半期連結累計期間の都市ガス事業におけるお客さま戸数は113万2千戸であり、都市ガス販売量は前年同期に比べ1.7%増の207,035千m<sup>3</sup>となりました。このうち業務用ガス販売量につきましては、主に工業用分野において新型コロナウイルス感染症の影響からの回復により4.6%増の125,138千m<sup>3</sup>となりました。家庭用ガス販売量は、巣ごもり需要の縮小等により使用量が減少したことから4.5%減の55,242千m<sup>3</sup>となりました。他の事業者への卸供給ガス販売量につきましては、卸供給先の需要増によって前年同期に比べ2.0%増の26,655千m<sup>3</sup>となりました。

以上のような都市ガス販売量の結果と原料費調整によるガス料金単価の上方調整の影響等により、売上高は前年同期に比べ27.9%増の33,137百万円となり、セグメント利益は原油価格の上昇及び為替レートが円安に推移したことによる売上原価の増加があったものの197.8%増の1,456百万円となりました。

## ②L P G

L P G販売単価が上昇したこと等により、売上高は前年同期に比べ34.4%増の6,793百万円となったものの、セグメント利益は新規物件獲得の販売促進費が増加したこと等から、前年同期に比べ57.4%減の75百万円となりました。

## ③電力・その他エネルギー

電力事業において販売単価の上昇及び販売量の増加はあったものの、国際エネルギー事業における海外向けのL N G出荷が減少したこと等から、売上高は前年同期に比べ25.4%減の3,630百万円となり、セグメント利益は電力仕入価格の上昇等から、前年同期に比べ80.0%減の71百万円となりました。

## ④不動産

(株)エストラストの当四半期における分譲マンションの販売戸数が減少したこと等により、売上高は前年同期に比べ21.6%減の9,382百万円となり、セグメント利益は31.9%減の789百万円となりました。

## ⑤その他

その他の事業には、食関連事業（食品販売事業、飲食店事業）、情報処理事業等が含まれておりますが、食関連事業において新型コロナウイルス感染症の影響からの一部回復等により、売上高は前年同期に比べ12.1%増の6,699百万円となり、セグメント損益は165百万円の利益（前年同期セグメント損失56百万円）となりました。

(単位：百万円、上段 対前年同期比)

項 目	ガ ス	L P G	電 力 ・ そ の 他 エ ネ ル ギ ー	不 動 産	そ の 他
売 上 高	+ 27.9% 33,137	+ 34.4% 6,793	△ 25.4% 3,630	△ 21.6% 9,382	+ 12.1% 6,699
セ グ メ ン ト 利 益	+ 197.8% 1,456	△ 57.4% 75	△ 80.0% 71	△ 31.9% 789	— 165

(注) 売上高及びセグメント利益にはセグメント間取引消去又は振替高を含み、セグメント利益には各セグメントに配分していない全社費用を含んでおりません。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、392,643百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,021百万円減少しました。これは主に季節的な要因や原料取引による債権の減少によるものです。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、310,728百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,296百万円減少しました。これは主に借入金が増加したものの、未払法人税等及び買掛金が減少したことによるものです。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、81,915百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,276百万円増加しました。これは主に為替換算調整勘定が増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は19.3%（前連結会計年度末18.8%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年4月27日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたします。

売上高につきましては、原料費調整によるガス料金単価の上方調整の影響等から、前回予想を上回る見通しです。

営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、電力市場価格の高騰や為替レートの想定を見直したことによる都市ガス原材料費の増加等により、前回予想を下回る見通しです。

なお、2022年4月27日に公表いたしました通期の連結業績予想との差異は以下のとおりです。

## 〔通期連結業績予想〕

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	240,000	8,500	8,500	6,000	162 05
今回修正予想 (B)	250,000	6,500	6,500	4,500	121 54
増減額 (B－A)	10,000	△2,000	△2,000	△1,500	－
増減率 (%)	4.2	△23.5	△23.5	△25.0	－
前期実績	215,273	451	571	495	13 37

## (参考)

今回予想の前提 (7月以降)：原油価格 100ドル/バレル 為替 135円/ドル  
 前回予想の前提 (4月以降)：原油価格 100ドル/バレル 為替 120円/ドル

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
固定資産		
有形固定資産		
製造設備	25,174	23,876
供給設備	69,805	68,699
業務設備	12,882	12,819
その他の設備	116,833	117,906
建設仮勘定	2,927	3,062
有形固定資産合計	227,624	226,364
無形固定資産		
のれん	99	91
その他無形固定資産	3,210	3,175
無形固定資産合計	3,310	3,267
投資その他の資産		
投資有価証券	39,692	42,182
長期貸付金	428	505
退職給付に係る資産	7,861	7,994
繰延税金資産	4,594	4,612
その他投資	8,319	6,231
貸倒引当金	△414	△382
投資その他の資産合計	60,481	61,144
固定資産合計	291,415	290,777
流動資産		
現金及び預金	25,535	22,863
受取手形、売掛金及び契約資産	24,483	21,876
商品及び製品	5,039	6,058
仕掛品	27,043	29,469
原材料及び貯蔵品	4,827	12,018
その他流動資産	17,493	9,749
貸倒引当金	△172	△168
流動資産合計	104,248	101,866
資産合計	395,664	392,643

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
固定負債		
社債	67,280	67,210
長期借入金	131,241	129,661
繰延税金負債	285	303
ガスホルダー修繕引当金	379	391
退職給付に係る負債	1,839	1,833
資産除去債務	378	386
その他固定負債	10,271	10,088
固定負債合計	211,677	209,876
流動負債		
1年以内に期限到来の固定負債	35,480	34,481
支払手形及び買掛金	10,217	9,464
短期借入金	37,773	42,838
未払法人税等	3,121	980
その他流動負債	16,754	13,087
流動負債合計	103,347	100,852
負債合計	315,024	310,728
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	20,629	20,629
資本剰余金	5,785	5,785
利益剰余金	41,850	42,351
自己株式	△371	△371
株主資本合計	67,893	68,394
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,457	3,750
繰延ヘッジ損益	△10	—
為替換算調整勘定	660	1,294
退職給付に係る調整累計額	2,333	2,240
その他の包括利益累計額合計	6,441	7,285
非支配株主持分	6,304	6,235
純資産合計	80,639	81,915
負債純資産合計	395,664	392,643



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	50,083	55,298
売上原価	30,714	36,046
売上総利益	19,369	19,252
供給販売費及び一般管理費	17,442	17,019
営業利益	1,926	2,233
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	368	384
持分法による投資利益	10	60
雑貸貸料	46	40
雑収入	315	473
営業外収益合計	742	959
営業外費用		
支払利息	311	282
社債発行費償却	17	—
雑支出	271	58
営業外費用合計	600	340
経常利益	2,068	2,852
税金等調整前四半期純利益	2,068	2,852
法人税等	416	955
四半期純利益	1,652	1,896
非支配株主に帰属する四半期純利益	170	96
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,481	1,799

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	1,652	1,896
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,135	296
繰延ヘッジ損益	—	10
為替換算調整勘定	129	201
退職給付に係る調整額	△84	△93
持分法適用会社に対する持分相当額	457	452
その他の包括利益合計	△1,633	866
四半期包括利益	18	2,763
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△161	2,643
非支配株主に係る四半期包括利益	180	120

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取り扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。

これにより、取得価額をもって四半期連結貸借対照表価額としていた一部の投資信託等については、時価をもって四半期連結貸借対照表価額とすることに変更しております。

なお、当該適用による四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ガス	L P G	電力・ その他 エネルギー	不動産	計				
売上高									
外部顧客への売上高	25,492	4,267	4,672	10,795	45,227	4,856	50,083	—	50,083
セグメント間の内部 売上高又は振替高	410	787	194	1,169	2,563	1,119	3,682	△3,682	—
計	25,903	5,054	4,866	11,965	47,790	5,975	53,766	△3,682	50,083
セグメント利益 又は損失(△)	489	176	355	1,159	2,181	△56	2,124	△197	1,926

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品販売事業、情報処理事業、飲食店事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△197百万円には、セグメント間取引消去又は振替高△150百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△47百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ガス	L P G	電力・ その他 エネルギー	不動産	計				
売上高									
外部顧客への売上高	32,756	5,349	3,462	8,285	49,854	5,443	55,298	—	55,298
セグメント間の内部 売上高又は振替高	380	1,443	167	1,096	3,088	1,256	4,344	△4,344	—
計	33,137	6,793	3,630	9,382	52,943	6,699	59,643	△4,344	55,298
セグメント利益	1,456	75	71	789	2,393	165	2,558	△325	2,233

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品販売事業、情報処理事業、飲食店事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△325百万円には、セグメント間取引消去又は振替高81百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△407百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。